



### DMI 支援者のみなさまへ

新しい年が始まりました。みなさまとご家族にとって祝福に満ちた一年であることを信じます。世界のDMIのために祈り、ご支援をいただきありがとうございます。DMI インターナショナルのスポンサーシップ・プログラムの責任者のジェニー・リードより、各学校のすばらしいレポートが届きました。喜んでお読みいただけることと存じます。

お祈りいただきたい二つの重要なことがあります。

① シリアの DMI スタッフとろう者のクリスチャンのために祈りください。

前回の手紙で、拉致された人たちは自分の村に戻されたものの、そこで監禁されているとお伝えしました。その後、村は襲撃され、人々はその機会をとらえて脱出しました。そして居場所を明かすことなくある村に隠れています。悲しいことに、襲撃と逃走の最中、9人の人質が殺され、その中には、私たちの教会のひとりのろう者の兄弟も含まれています。どうか、シリアの兄弟姉妹のために続けてお祈りください。

残忍な行為が続くシリアにあっても、多数の感謝すべき証

しもありますから、主を賛美します。この状況のために祈ってくださる世界中の方々に、心から感謝いたします。ふたりの DMI リーダーは、テロリストの心が変わるように、悪による忌まわしい目のおおいが取り除かれて、彼らがイエスを救い主と受け入れるように祈って欲しいと伝えていますが、こう祈っているのです。なぜなら、神の恵みを体験し、敵を愛しなさいという神の命令に従っているからです。



天の父なる神の御許に召されたろう者の兄弟

② DMI のエグゼクティブ・ディレクターのネヴィル・ミュア師の健康のために続けてお祈りください。以前、彼が膀胱がんを患ったことを覚えておられる方もおられるでしょう。今度は、前立腺がんだと診断され、現在、治療方法を定めるために検査をしています。感謝なことに、骨や他の臓器に転移はなさそうです。たぶん外科手術によって悪い部分を切除することになるでしょう。どうか、完全な癒しのために祈りください。

最後に、もうひとつお知らせがあります。5月20日(金曜日)、大阪でDMIのためのチャリティーコンサートを開く予定にしています。午後と夜の二部構成です。多くのDMIの支援者が、お友達を誘って来てくださることを願っています。次回、ニュースレターをお送りするときには、チラシを同封させていただきます。今は、この日付をスケジュール帳に記していただきたく、お知らせいたします。

感謝します。

日本 DMI 理事長

*Alayne Madory*

アレイン・マドレ



Deaf Ministries International

DMI 日本部

Web: <http://japan.deafmin.org>

Email: [info@japan.deafmin.org](mailto:info@japan.deafmin.org)

Tel/Fax: (代表:マドレ) 075-871-8562

(スポンサーシップ:談議) 075-723-7089

(会計:マーシャル) 090-6664-8655

郵便 (大阪インターナショナルチャーチ):

〒540-0004 中央区玉造 2-26-47-407

DMI 国際本部 (オーストラリア)

Web: <http://deafmin.org>

Email: [muir@deafmin.org](mailto:muir@deafmin.org)

P.O. Box 395 Beaconsfield Vic. 3807 Australia

Tel: +61-3-5940-5430

Fax: +61-3-5940-5432

## DMI 学校ニュースレター 2015年12月

支援者のみなさまに感謝します。

ろう者の児童・生徒・学生たち 390人以上が、幼稚園、小学校、中高等学校、大学、職業訓練センターで学んでいます。プログラムの種類や学習レベルは年々向上しています。職業訓練のプログラムはろう者の青年たちが技術を学び自立するために役立っています。数人の学生は大学を卒業して、ろう学校の教師になりました。

学生の中には、孤児や片親家庭の人もあり、家族は非常に苦しい状況です。悲しいことですが、生徒の中には捨て子だった子どももいます。こうした生徒たちには、生活全般の支援が必要です。DMI スタッフは、24時間体制で彼らの世話をしています。このような働きは、みなさまのご支援とご関心がなければ続けていくことができません。

この働きをご支援くださるすべての方々に心から感謝いたします。生徒たち、保護者たち、そして教師たちは、みなさまに感謝しています。

### ミャンマー

ミャンマーの14州のうち、12州が数十年に一度のひどい洪水に襲われ、2015年は大変な年でした。この洪水で103人が死亡し、およそ100万人が、被災生活を余儀なくされました。私たちの学校はカレイ地域にありますが、ここは洪水の被害が甚大だった地域です。しかし、学校を建設するとき、これらのことを十分考慮していたので、私たちの敷地は被害を免れることができました。ただ、町の中心部へ行く道路が寸断されたので、生徒たちは数週間も通学できませんでしたが、一段落ついたところで、授業が再開されました。周辺には、被害





によって人生が変わってしまった人もいます。そして、洪水の後にデング熱が流行し、悲しいことに、生徒ひとりが感染して死亡しました。家屋や畑が流され、道が寸断され、この地域の状況は未だに悲惨です。貧しい田舎の農民にとって、家を再建し、畑を作り直すのは、気の遠くなるような仕事です。



今、生徒たちは、パソコン、裁縫、英語を学んでいます。そして、年長の生徒たちはカレイやヤンゴンの健常者の学校で学んでいます。ろう者の生徒がここまでできるのは称賛に値する成果です。私たちの学校の教師たちは、ピントー村のろう者のコミュニティーに

毎週末通って、勉強を教えています。生徒たちも気候の良いときは、一緒に行ってお祝いをしたり、ピクニックをしたりします。

### フィリピンのバゴロドとボロンガンの寄宿舎

生徒たちは、自分たちに適した学校のない様々な地域から来て、この寄宿舎で暮らしています。ですから、彼らの就学年齢は高いのです。多くの生徒が、孤児や捨て子、また片親しかいないため、スポンサーがいなければ学校で学ぶことはできません。学校は、学費と生活費だけでなく、週末に、家に帰るための交通費も負担しています。生徒たちは、自分と同じろう者の友だちができて幸せです。そして、勉強とスポーツをしっかり頑張って上達しています。バゴロドの「スクール・スポーツ」では、ヴィンス、ジェラルド、リジンが良い成績を収めました。



この写真は、スポンサーに送るクリスマスカードを楽しみながら作っているところです。

### フィリピンのリガオのF.C.L.C

新学期が6月に始まって以来、生徒たちは忙しくしています。この学校は米国の学期に合わせています。彼らの学びの一環として、「全国栄養月間」、「全国防災訪問」、「全国読書月間」、「世界教育デイ」、「F.C.L.C 創立32周年」、「9年生、全国職業査定テスト」が行われ、また、生徒たちはオーストラリアのパーウィックからのチームの訪問を心から楽しみました。建物設備の保守仕事の多

写真は防災訪問の消防士を受け入れたときの写真です。そして、全国栄養月間の最中に生徒がモデルたちと撮った写真です。



くが完成し、学校は整然としてきました。生徒たちは訪問してくださる方々を本当に喜んでいます。

### ジョナスの歩み

ジョナスはF.C.L.Cを卒業して、独創的で芸術性のある裁縫と装飾の技術を身につけました。彼は、小規模ビジネス用のローンを学校から借りることができ、今は、叔父の会社で、結婚式などのお祝いのための花飾りを作るデザイナーをしています。また、学校のために広告をデザインし



自立プログラムは、ろう者の青年に個々の才能を生かした技術を身に付けてもらうものです。ジョナスは、このプログラムの有効性を伝える良い模範です。

たり、自立プログラムに集う青年たちに新しいビジネス・アイデアを教える助手をしています。

### フィリピンのダバオのろう者支援インスティテュート

フィリピンでは毎年、「全国障害予防および社会復帰活動週間」が行われます。この期間、ろう者が能力を持っていることがはっきり示されます。また、ろう者だけでなく、様々な障害を持った人たちと交流を持ち、その働きに関わってもらえるように、社会の人たちを啓蒙する時でもあります。多くの学校がパレードなどの行事に参加します。これは、生徒たちが、様々な人々の技能を理解する一助となっています。





この期間は、スポーツやアート、チェスのように思考力を鍛えるゲームなど、生徒たちが参加できる多くの行事が催されます。

ダバオの学校は中高校生部門で良い評価を得ています。他の小学校を卒業した数人の生徒も入学しています。この生徒たちはダバオで寮生活をします。ここでは、校舎拡張などの建築計画が続いています。その中には、年長の生徒たちが、マニキュア、ペディキュア、美容セラピーなどの技術を学ぶ「美容院」の計画も含まれています。

### フィリピンのカガヤン・デ・オロ

悲しい知らせがあります。カガヤン・デ・オロ出身の女子生徒が、山岳地に住む祖母の家に行っている最中、犬に噛まれて亡くなったということです。これは、辺境の地に住むろうの子どもが、医療や交通インフラの不備によって、いかに不遇な状況に置かれているかという一例です。

カガヤン・デ・オロの子どもたちはみな、適切な学校の無い辺境の地から来ています。生徒たちはみな、学校で良い成果を収めており、この写真でお分かりのように、楽しくしています。これは、おやつの時間に撮られたものです。



### ケニアのリングアの ICSD

校舎建築プロジェクトは学校に大変改をもたらししました。レンガ造りのすばらしい厨房と食堂は、テーブルが脇に寄せられると、収容人数が二倍になる多目的ホールになります。床はタイル張りなので、学校が益々大きくなることに貢献するでしょう。新しい二棟の寄宿舎は、食堂の両側にあり、生徒たちにとって便利な造りになっています。



関係者は、この設備に感激しています。米国のマイケル・ガント牧師が多額の資金集めに奔走してくださり

**みなさまの新しい一年が、すばらしいものでありますように。  
スポンサーとしてご支援くださる方、一時献金をお捧げくださる方、心から感謝いたします。**

みなさまの中で、またお知り合いの中で、このような子どもの支援者になりたいと思ったださる方がおられましたら、ぜひ、担当者にご連絡ください。

ジェニー・リード  
スポンサーシップ・コーディネーター

実現しました。ガント牧師に心から感謝しています。生徒たちは、全国共通試験で引き続き好成績を収め、今では、さらに多くの生徒たちが、クジャ高等学校に通っています。卒業生のモリーンは、教育大学に入学しますが、それまで、ボランティアで後輩の生徒たちの指導をしています。

### フィリピンのザンボアングイタ農場

この農場プロジェクトの責任者は、ダグとヴァル・クルトンです。彼らは、ろう者を雇用し、彼らを訓練しながら付加価値をつけた製品を作っています。雇用者の人数は、年間を通じて多少変動しますが、2015年は10名のろう者が訓練を受けました。養豚に加えて、精肉、肉製品、鶏肉、鶏卵、うずら卵、また、栽培した色々な野菜や果物を農場付属の店舗や、地域のリゾート地の店などで販売しています。

### ウガンダ

スポンサーから支援を受けているウガンダの学生の半数は、大学に通っています。教師の訓練を受けて就職した人たちもいます。彼らの頑張りは称賛に値するものです。職業訓練を受けている学生たちは、レンガ積み、大

工、コンクリート造り、接客、紳士・婦人服仕立て、編み機の操作、また美容師技術を

学んでいます。これは、彼らの努力でもありますが、彼らを支援して教育を可能にしてくださいました方々のおかげでもあります。ウガンダで教師をしている人もいます。遠い外国の方々のおかげによって、このような高度な教育を受けることができたことを、彼らはとても感謝しています。年少の生徒たちは、教育担当者の訪問を受けて、家族ともども励まされています。ほとんどの生徒は遠方の出身であるため、学校の寄宿舎で生活し、各々にとって最適の学校を選んでもらっています。



サイモンは DMI がスポンサーをした青年です。教師の訓練を受けて就職し、幸せな結婚をしました。

ろう者の子どもにとって、教育を受けられるか受けられないかは、人生を左右する大きな要素です。私たちの学校に入学して人生が全く変わり、幸せに生き生きと暮らす生徒たちを訪問しお会いになれば、そのことを十分に分かっていただくことができるでしょう。



# DMI JAPAN Winter 2016

## - English -

Dear DMI supporters,

Another New Year has begun, and we trust it will be a year full of blessings for you and your family. Thank you for your prayers and continued support for the work of DMI worldwide. Jenny Reid, who is in charge of the worldwide sponsorship program for DMI International, has sent a great report on each of the schools and I hope you will enjoy reading it.

There are two important matters for prayer.

① Please pray for the DMI workers and the deaf Christians in Syria.

*In our last update, we had heard that those who had been kidnapped had been returned to their village but were still being held captive. Since then we have heard that the village came under attack which gave them an opportunity to escape. They are now in hiding in an undisclosed village. Sadly, at some point during the*

*upheaval, nine of those captives were killed, including one of our Deaf brothers.*

*Please continue to keep our Syrian brothers and sisters in your prayers. Praise the Lord that amongst the atrocities, there are many positive stories coming out of Syria. A heartfelt thank you to every one of you around the world who has upheld this situation in prayer. The two DMI leaders have shared that their prayer is for the terrorists' hearts to be changed: for evil's blindfold to be removed and for them to accept Jesus as Lord. This is the prayer coming from those who have been persecuted, because they have also witnessed God's grace and they are obeying the command to love their enemies.*

*This is a photo of our Deaf brother who is now with his Heavenly Father.*



② Then please continue to pray for the health of our Executive Director, Rev. Neville Muir. You will remember he had bladder cancer. He has now been diagnosed with prostate cancer and is undergoing tests to decide what the doctors should do. Praise the Lord it does not seem to have spread to his bones or other organs. So it is probable that he will have surgery to remove the cancer. Pray for complete healing.

Then one more thing before I finish. On Friday, May 20th we will have a Charity Concert for DMI in Osaka. There will be an afternoon performance and an evening performance and we hope that many of our DMI supporters and their friends will come. I will include flyers in the next newsletter but I just want you to make a note of this date in your schedule.

Thank you again.  
Alayne Madore

### DMI School Newsletter, December 2015

(see the Japanese newsletter for color photos)

Thank you sponsors and supporters,

More than 390 Deaf students are now studying at our kindergartens, primary and secondary schools, colleges, and vocational training centres. Each year the range of programs and the standards gained increase.

The vocational training programs are helping young Deaf adults learn skills to support themselves, and some students complete college and become teachers of the Deaf. Thank you to our sponsors and supporters.

There are students who are orphans or have only one parent, and they experience severe family hardship. Sadly, some students have been deserted

when very young and these orphans need to be fully supported. Our workers care for them full time. We could not continue to care for these students without your interest and financial support.

We are all very grateful to everyone who supports this work. Thank you, from students, parents and teachers.

#### Myanmar

This has been a difficult year for Myanmar (Burma) when 12 of the 14 states had the worst floods for decades. 103 lives were lost and up to 1 million people displaced. The area of Kalay where our school is was one of the worst affected places.

Many activities are offered to the students during this week including sports, artistic opportunities and games like chess that encourage advanced thinking skills.

Davao has a very good reputation for secondary education and several Deaf students who have completed elementary education at other schools, board at Davao for their secondary education. There are plans to continue building extra facilities for this and for a 'Beauty Parlour' where older students can develop manicure, pedicure and beauty therapy skills.

### ***Cagayan de Oro in the Philippines***

It is with regret I sadly tell you that a young girl from Cagayan, who was staying with her grandmother in the mountains, has passed away after being bitten by a dog. This is an example of the disadvantage that our Deaf children from isolated areas suffer because of poor transport and few doctors.

The children at Cagayan all come from remote areas where there are no suitable schools. They are doing well in school and are very happy, as is seen in this photo taken at snack time.



### ***ICSD at Ringa in Kenya***

The building projects at Ringa in Kenya have made a huge difference to the school. There is now a beautiful brick Dining Room and Kitchen building that doubles as a hall when the tables are pushed aside. It has a tiled floor and will allow for future growth of the school. The 2 new dormitories are on either side of the Dining Room building giving easy access for the students.



Everyone is thrilled with these facilities and we are very thankful to Pastor Michael Gantt in the U.S.A. who has raised a lot of finance for these buildings. The school continues to excel in the National Exams and more students are now at Kuja High school. Maurine, an ex-student is now a volunteer teacher here until she can enrol at a teacher's college next year.

### ***Zamboanguita Farm in the Philippines***

This farm project managed by Doug and Val Clutton trains and employs Deaf people on the farm or in making value added products. The number working varies throughout the year but 10 Deaf people were training there in 2015. The produce includes pigs for sale of fresh and processed meats, chickens for eggs and meat, quail eggs, and a range of fruit and vegetables that are grown and sold in their shop, and to tourist resorts in the area.

### ***Uganda***

Half of the students who are currently sponsored in Uganda have now advanced to tertiary colleges or universities. Others have completed teacher training and gained teaching positions; and they are to be commended for their perseverance. Vocational training students have studied bricklaying, carpentry, concreting, hospitality, tailoring, dressmaking, knitting machine use and beautician training. This is a credit to them and to you their sponsors who have given them education. Several others are now teaching in Uganda. They are very thankful to achieve this level of education with support from people in distant countries.



Simon was a DMI sponsored student who trained as a teacher, gained employment and is now happily married.

The younger ones are monitored by our Education Officer who visits them and encourages them and their families. Most of the children need to board at school due to distance from home and the best school is found for each child.

The difference that education makes in a Deaf child's life is hard to believe until you visit our schools and meet happy, confident students whose lives are completely changed.

**We wish you happiness in the New Year. Thank you for your sponsorship and support.**

If you or a friend would like sponsorship information, please contact the Japan board (see Japanese page 1).

Jenny Reid, International Sponsorship Coordinator



## ***F.C.L.C. at Ligao in the Philippines***

The students have had a very busy time since the school year started in June. They follow the USA school year model, and as part of their learning activities have included Nutrition Month, National Protection Visit, National Reading Month, World Teaching Day, 32nd Foundation Celebration of F.C.L.C., the Grade 9 National Career Assessment Exam; and everyone thoroughly enjoyed the visit by the work party from Berwick. More maintenance jobs have now been completed, the school is very neat and tidy; and the students love having visitors.



These photos show the visit from National Protection Services, and students with their models during National Nutrition Month.

## ***Jonas' Story***

Jonas completed his education at F.C.L.C. and developed excellent artistic and creative skills in sewing and decoration. He is a recipient of a micro-enterprise loan from the school, and now works as a creative decorator for his uncle's business making floral and decorative arrangements for weddings and other celebrations. He also designs promotional flyers for the school and helps teach new business ideas to other young adults in the Livelihood Program.



Jonas is an example of how the Livelihood Program helps young Deaf people develop their natural skills to support themselves.

## ***Deaf Ministries Institute at Davao in the Philippines***

Each year in the Philippines the schools celebrate the National Disability Prevention and Rehabilitation Week. This week highlights the capabilities of Deaf people and encourages all people to learn to communicate and become involved in the lives of people with disabilities, as well as deafness. Many schools participate in street parades and other activities to help the students understand the skills



of all people. The students are dressed in their best ready to start their parade in this photo.



However the site of our school was carefully chosen and did not flood.

The school was cut off from the main town and some of the children could not return to school for weeks, but lessons resumed as soon as the main flooding receded. The devastation to the surrounding area has changed some lives forever. Sadly one of our students passed away from Dengue fever that spread rapidly in the months after the flood. Homes were washed away, dirt roads destroyed; and life is still extremely hard for the small peasant farmers in the area. Rebuilding homes and re-establishing farms is a daunting task for these people.



Computers, sewing and English are taught now and our older Deaf students are studying in hearing high schools in Kalay and Yangon. This is a commendable achievement for these

Deaf students. The teachers from the school continue to conduct classes for the Deaf community at Pintaw Oo village each weekend and the students visit them for celebrations and picnics in the good weather.

## ***Bacolod and Borongan Dormitories in the Philippines***

The students at these dormitories come from places where there are no suitable schools and they have all been late starting school. Many are orphans or have only one parent and would not be able to attend school without sponsorship. Their travel costs to go home for weekends is also covered. They are very happy to have Deaf friends and are progressing well in their learning and sports. Vince, Gerald and Regine excelled in the School Sports at Bacolod. The photo shows happy students making Christmas cards for their sponsors.



well in their learning and sports. Vince, Gerald and Regine excelled in the School Sports at Bacolod. The photo shows happy students making Christmas cards for their sponsors.